

第34回定期演奏会

Tokyo Sinfonietta the 34th Subscription Concert

東京シンフォニエッタ



2013/12/12 木 開演 19:00

19:00 Thursday, 12th December 2013

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

「固定－展開」

Fixed-Growing

指揮・クラリネット：板倉康明

Conductor, Clarinet : Yasuaki Itakura

エレクトロニクス：有馬純寿

Electronics : Sumihisa Arima

演奏：東京シンフォニエッタ

Ensemble : Tokyo Sinfonietta

ニコラス・ツォルツィス (1978-)

声のない、、、12人の音楽家のための (2012) (第33回入野賞受賞作品)

Nicola Tzortzis : Voiceless for 12 musicians

エリオット・カーター (1908-2012)

クラリネット協奏曲 (1996)

Elliott Carter : Clarinet Concerto

ジョナサン・ハーヴェイ (1939-2012)

バクティ 室内オーケストラとエレクトロニクスのための (1982)

Jonathan Harvey : Bhakti

入場料：一般 4,000 円／学生 3,000 円 (全席自由)

主催：一般社団法人 東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金 ／公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 三菱 UFJ 信託芸術文化財団

Tokyo Sinfonietta the 34th Subscription Concert

第34回定期演奏会 東京シンフォニエッタ

「固定－展開」 Fixed-Growing

2013年12月12日(木) 開演19:00 / 東京文化会館 小ホール
19:00 Thursday, 12th December 2013 Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

ごあいさつ

作曲行為は音楽家の思考の軌跡を五線に定着させると言う、いわば固定化されたものですが、作曲家が現存している場合、加筆、訂正は可能です。作曲家自身がその作品を展開させる、ないしはその作品に触発され、自身の音楽的思考を展開させていくことが可能です。しかし作曲家が生を終えた時から、その作品は固定化され加筆、修正は不可能となり、その作品を展開させられるのは演奏家のみです。(もちろんここでは最近の自筆譜の発見による、過去の作品の修正は含んでいません)演奏家の団体である私たちは、固定－展開という二つの言葉から作曲、演奏という対立または共存する概念について現代作品を通して考えてみる機会にしたいと考えています。

代表 板倉康明

板倉康明 (指揮、クラリネット) Yasuaki Itakura (Conductor, Clarinet) 1960-



東京藝術大学を経て仏政府給費留学生として渡仏。パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。まず、クラリネットソリストとしてキャリアを積み、これまでに東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。また国内外で、日本の作品について、演奏、講義を行っている。1996年西村朗作品により指揮デビュー。以後、現代作品を中心に、活発な指揮活動を行っている。これまでに、サントリー・サマーフェスティバル、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、プレジンス音楽祭(仏)、ミュージック・フロム・ジャパン(NY)、現代音楽アспект(仏カーン)等、国内外の音楽祭に招聘されている。指揮者としてのレパートリーは広範囲に渡り、特に現代作品の演奏には各方面から高い評価を得ている。2001年より東京シンフォニエッタ音楽監督就任。日本音楽コンクール委員会特別賞、第18回中島健蔵音楽賞を受賞。

現在、国立音楽大学客員准教授。

有馬純寿 (エレクトロニクス) Sumihisa Arima (Electronics) 1965-



エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。東京シンフォニエッタをはじめ室内アンサンブルのメンバーやソリストとして「サントリー芸術財団サマーフェスティバル」「コンポーザム」など多くの国内外の現代音楽祭に参加し、300を超える作品の音響技術や演奏を手がけ高い評価を得ている。平成24年度第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞芸術振興部門を受賞。現在、帝塚山学院大学人間科学部准教授。

東京シンフォニエッタ (アンサンブル) Tokyo Sinfonietta (Ensemble) 1994-



©Akitoshi Higashi

主催：一般社団法人 東京シンフォニエッタ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/jp~ts/>
チケットお取り扱い：東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>
お問合せ：東京コンサーツ 03-3226-9755 (月～金 10:00～18:00) <http://tokyo-concerts.co.jp> (HPにて予約、セブン・イレブンにて支払・受取ができます。)
東京文化会館：「JR 上野駅」公園口正面 ※出演者・曲目は予告なしに変更になる場合があります。

ニコラス・ツォルツイス (作曲) Nicolas Tzortzis (Composer) 1978-



アテネ、ギリシャ生まれ。2002年からフランス、パリ在住。CRD de Blanc Mesnil、で器楽とコンピュータ音楽をフィリップ・ルルーに、スイス、ベルンの芸術音楽大学で劇場音楽をジョルジュ・アペルギスに師事する。パリ第8大学でオラシオ・ヴァッジョーネとホセ・マヌエル・ロペス＝ロペスの指導の下コンピュータ音楽を学ぶ。09年から12年にIRCAMのCURSUS 1、2に出席し、サイレントピアノとライブエレクトロニクスのための大規模な作品を発表した。現在、フィリップ・ルルーとデニス・グージョンの監督の下、モントリオール大学にて博士号(PhD)取得の準備中。10年に、アンサンブル・アレフの第6回国際作曲フォーラムに選ばれた。これまでにフランス、ドイツなど15カ国で自身の作品が演奏され、数々の国際作曲賞を受賞している。

エリオット・カーター (作曲) Elliott Carter (Composer) 1908-2012



ニューヨーク生まれ。チャールズ・アイヴズの勧めでクラシック音楽を志し、ハーヴァード大学でウォルター・ピストンに、後パリに渡りナディア・ブーランジェにそれぞれに師事。代表作には、ストラヴィンスキーをして傑作と言わしめた《ハーブシコードとピアノのための二重協奏曲》、《アスコ協奏曲》や《What Are Years》などがある。75年を超える創作活動の中でカーターは158にも及ぶ作品を残し、この10年間で40作品以上を作曲していた。1960年と73年にそれぞれ《弦楽四重奏第2番》と《弦楽四重奏第3番》でピューリッツァー賞受賞、81年にエルンスト・フォン・ジューメンス音楽賞受賞、85年には全米芸術勲章の最初心者に選ばれる。またフランス政府から88年に芸術文化勲章、2012年にレジオンドヌール勲章を授与。

ジョナサン・ハーヴェイ (作曲) Jonathan Harvey (Composer) 1939-2012



ウォリックシャー州生まれ。ケンブリッジ大学セント・ジョーンズ・カレッジを経て、ケンブリッジ大学とグラスゴー大学で博士号を取得する。ベンジャミン・ブリテンの勧めによりエルヴィン・シュタイン、ハンス・クレーンに師事する。80年代にはブレーズに招かれIRCAMで創作活動を行い、「バクティ」などテープ・ライブエレクトロニクスを使った作品を多数手がける。2005年から08年、BBCスコットランド交響楽団にてコンポーザー・イン・アソシエーションを務め、オーケストラの3部作品を作曲。09年、ベルリンで先端研究の研究員及び、イギリスのハダースフィールド現代音楽祭のコンポーザー・イン・レジデンスを務める。また、年間約150～200曲の彼の作品が世界中で演奏され、100を超える録音がCDでリリースされている。12年《Messages》でロイヤル・フィルハーモニック・ソサエティ音楽賞を受賞。

次回定期演奏会の予告

■ 東京シンフォニエッタ第35回定期演奏会
2014年7月3日(木) 19:00開演
会場：サントリーホール プルーローズ